

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 236 号 2017. 12. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

宝物いっぱい！東中野頒布会

スタッフ 藤井千亜紀



岡田茂吉師の自然農法を学び、取り組み続けてくださる方々のお陰で、12月17日、今回も無施肥無農薬栽培年数の長い作物を多く準備させていただきました。20年(長野県堀さん、米、大豆)、25年(埼玉県弥生会、さつま芋)、29年(静岡県市川生産グループ、お茶)、30年(栃木県五十嵐さん、野菜。埼玉県三六九会、お茶)などなど。種類も豊富に集まり、「宝物がいっぱいですね！」と、感動される方が多く、大勢の方と共に、喜びあい、感謝して味わい、交流させていただき頒布会でした。

堀さんより、皆さんに楽しんでいただきたいと、貴重な在来種、信濃青大豆を、豆腐作り名人、山本健

氏に託し、美しい絹ごし豆腐をご用意いただき、開店前から並んで待つほどの人気でした。

どの試食も美味しいと好評だったのですが、中でも、さつま芋に皆さん関心が集まりました。同じ品種なのに、土が違うと味も形も全然違う。それぞれに良さがある！試食を楽しみ、全種類のさつま芋を購入される方もいるほど美味しかったです。野菜を育てているのは肥料ではなくて「土」、そしてそこに関わる人、ということを感じる方が多かったです。

お米、野菜、お茶、みかん、卵、洋菓子の生産者、加工者からも、いらした方々との会話に良い刺激を頂き、「励みになった」「楽しかった」と喜びの声を頂きました。本当に心からの感謝に堪えない頒布会でした。東中野会場での次の開催は2月25日です。よろしくお願いいたします。

化学物質過敏症の母が食せる作物②

H・Mさん(取材:スタッフ大山朋子)

五十嵐さんのお米を頂いて、まる1年になります。今までは、食べられるお米をやっと見つけても、早いもので3日、長くて半年、同じものが食べられることはありませんでした。北から南まで、無農薬や有機栽培のお米を試していましたが、いつもお米を研いでいて、炊いていて、体調不良になり(動悸、目、のどの痛み)、購入を中止していました。



中には無施肥のものでも、栽培年数によって同様の反応が出ます。化学物質過敏症(CS)が全て食物に反応が多い訳ではありませんが、母の場合は、発症原因が農薬関連だったため、特に食物に敏感です。多くの患者さんに接していますが、母ほど反応が大きい人には会ったことがありません。

今年から、お野菜も鎌ヶ谷頒布会から宅配していただき、昔懐かしい野菜とでもいうのでしょうか、甘みや香り、そして何より野菜からエネルギーを頂いている(元気になる)感じがします。丁寧な栽培が、野菜にストレスを与えることなく育つのでしょうか。手間ひまかけて育ててくださったお陰で、私たちが口にできるのだと感謝しています。豆類(ささげ、あずき)は、発症してから1度も口にできるものが見つからず、15年ぶりに家族でお赤飯やおしるこを頂きました。何よりうれしいのは、下ごしらえや調理を率先して母ができるようになったことです。以前は、母がいないときに急いで皮をむいたり茹でたりして…でもこの時点で、怪しいものは当然食べられるわけがありませんから、仕方なく処分です。

母がCSにならなければ、TOREKの皆様との出会いもなかったかもしれないと思うと、複雑な思いで



すが、この病に感謝しなくてはなりません。多くの方に、誰でも発症しうるこの病気にならない生活を送っていただきたいと願っています。

便利すぎるものが世の中にあふれていますが、「無施肥」同様に、原点に立ち返り、安全で安心なものを選び、生活をしていただきたいです。特に子供さんは体が小さいため、化学物質を取り込む量が少なくても、CSを発症するケースが年々増加しています。(学校に行けない子がいるのが現状です)。今、問題になっている食品添加物、香料(洗剤・柔軟剤・芳香剤)には要注意です。

初の鎌ヶ谷むせひ屋頒布会！

東京都 太田裕介

TOREK 五三会としては、普段、赤羽公園で開催される「ほっと縁市」に「むせひ屋」として出店していますが、11月は日程が「秋季農産展」と重なったため、鎌ヶ谷生産グループにご協力いただき、改めて11月26日に、「鎌ヶ谷むせひ屋頒布会」を開催させていただきました。(毎月の鎌ヶ谷頒布会とは別会場)。私は普段、消費者として食べることが専門でしたが、今回初めてスタッフとして参加いたしました。

当日は寒さも和らぎ、暖かな陽気に恵まれ、絶好の頒布会日和でした。私は会場近くのショッピングセンター前で、頒布会のご案内と誘導、その後、レジを担当いたしました。誘導での印象は、街行く方々の感じが良く、会場をご存知の方も多かったです。会場に向かっての人の流れを意識し、一人ひとりに積極的にお声掛けしました。後にショッピングセンターからの来場者が多数あったと伺い、とてもうれしく思いました。

会場では、会社の休憩中に少し様子を見にただで、購入意思のない2人組みの方に対して、無施肥無農薬のお茶と山本さんの卵をお勧めしました。農薬、肥料を一切使用していないお茶である



ことや、ワクチンを使用せずに平飼いで育てられている鶏の卵であることを、自信をもってお伝えしたところ、熱心にみて回られ、いくつかご購入いただくことができました。他にも山本さんの卵を試食され、黄身の色が違うと感じられた方など、132名の方にご来場いただきました。

私は自然農法の作物を販売することが初めてでしたので、直接反応を感じるができる貴重な経験となりました。反省会では、多くの改善点もありましたので、この経験を今後活かし、より一歩向上した自然農法活動を行えるよう、取り組んでまいります。

お知らせ

- ★ 自然農法頒布会 12月26日(火)、1月30日(火) 鎌ヶ谷会場 11:00~15:00
- ★ 自然農法頒布会 1月31日(水) 三咲会場 10:00~14:00

無施肥無農薬栽培物の販売予定

1月1日 於:伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町57 042-665-6369

- 市川生産グループ:煎茶、ほうじ茶、ほうじ茶ティーバッグ ● 長柄山自然農園:卵
- きじま平自然農産:自然米、納豆、甘納豆、ブルーベリージャム、干し柿、米粉、米糠
- 菜園金野:サツマイモ、大根、里芋
- 中島農園:長ネギ、ジャガイモ、干し柿、サラダカブ、梅干、自然のリンゴチップ
- ジョリフィユ:年賀ギフトセット、マドレーヌ、プリン他

お問い合わせ先:編集部 針貝 FAX:03-3369-3324 e-mail:naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。http://www.torek.jp